

石井研堂 （岩倉） 雜誌編輯者、明治文化研究家。慶應元年六月（二十）

自陸奥國郡山生れ、昭和十八年十一月七日歿（二六五—一九四三）。本名氏

司。別號源譚樓、研堂散史、研堂生、芋仙、頽花散人、石井氏、等。

明治十八年上京、岡鹿門の塾に學ぶ。雜誌『小國民』（のち『少國民』

と改題）、『實業少年』等主筆。また明治文化研究會創設に參劃し、

『明治文化全集』の編纂に盡力。

著書『福島縣地理問答』（本名、編、明治二十一年九月）二十五日明治

健一郎刊、東京、教育社、『台軍人叢書』（研堂散史名、明治

二十二年八月）二十五日學齡館）、『中濱博次郎』（明治二十二年五月

二十四日博文館）『少年讀本』（『理科』一ヶ月）（第一二月『雪達摩』

明治二十四年二月十七日、第四月『汐十符』四月二十六日、第五月

『植物園』五月二十八日、第八月『富士詣』三版・二十九年五月五日

博文館）、『文藝漫録』二卷四』（明治二十四年十一月十日博文館）、『少

年上藝文庫』（第十四編『漆器の巻』明治二十六年八月）二十三日博文

館）、『自助的人中村正吉傳』（明治四十年一月十五日成功雜誌社）、

『（獨り）實業開始案内・第一編』（新古書精業、新聞雜誌採取次業）（大正

二年四月十八日博文館）、『（卒）五十年間業珠算自由自在』（大正五年十月

十八日法政出版部）、『天深改革鬼譚』（大正十五年七月十五日春陽

堂）、『異國漂流奇譚集』（編、昭和二年八月五日福永書店）、『錦

繪の摺と彫』（昭和四年六月一日芸艸堂）、『明治文化研究論叢』（合

著・明治文化研究會編、昭和九年四月七日（元社）、『研堂雜抄』（昭

和十三年五月）二十一日横山政二版）、『土中の古泉界』（内題『土中

の古錢界』昭和十四年二月一日自刊）、（増補）『明治事物起源』全二冊

(上巻・昭和十九年十一月十八日、下巻・十一月二十八日春陽堂)等。  
 文獻、山下恒夫著『石井研堂』庶民派エンサイクロペディアストの小  
 伝』(昭和二十一年十一月五日サブローポーターコシリー大民間日本学  
 者)等。